

事業紹介・事業報告

「第13回JICE研究開発助成 成果報告会」の報告



沼尻恵子

情報・企画部
 上席主任研究員

JICE では、住宅・社会資本整備に係わる先進的な研究・技術開発に対して助成を行い、より良い国土の利用・整備又は保全に寄与することを目的として、研究開発を支援する助成制度を平成 11 年度より実施しており、平成 24 年度までの 14 年間で延べ 178 件の研究に対し助成を行っている。

その研究成果を社会へ還元する方策の一つとして、研究開発助成の成果報告会を開催しており、今年度で第 13 回目を迎えたところである。第 13 回成果報告会は、平成 25 年 6 月 11 日（火）に JICE 会議室において開催し、平成 23 年度に採択され、平成 24 年度に実施した研究成果について報告（15 研究）がなされ、会場からの活発な質疑があった。これらの研究の成果概要については JICE ホームページの研究開発助成事業で掲載しているので、あわせてご覧頂きたい。

本成果報告会については、土木学会認定の継続教育（CPD）プログラムの認定を受け、公開にて実施している。外部からも 40 名の参加があり、新たな技術への関心が寄せられたところである。



写真 成果報告会 会場の様子

表 成果報告された研究課題一覧（発表順：敬称略）

	研究課題名	発表者名
1	災害予測やリスクに関する確率等不確実性の認知と伝達手法の検討	東京都市大学メディア情報学部 社会メディア学科 教授 広田 すみれ
2	想定を超えてワーストケースに至るまでの津波危険度の変化に関する研究	京都大学防災研究所 助教 安田 誠宏
3	河川堤防の水分・応力変化を考慮した地震時変形予測に関する研究	徳島大学工学部建設工学科 教授 渦岡 良介
4	地盤調査地点を考慮した河川堤防の液状化危険度評価に関する研究	岐阜大学工学部社会基盤工学科 特任助教 大竹 雄
5	気候変動を考慮した活水リスク評価とそのマネジメント	琉球大学工学部環境建設工学科 助教 神谷 大介
6	都市内道路ネットワークにおける旅行時間の信頼性：プローブカーデータを用いた社会的費用の計測と最適な経路誘導に関する研究	東京工業大学大学院理工学研究科 土木工学専攻 准教授 福田 大輔
7	大規模複合災害発生時の交通運用管理にかかわる課題整理：東日本大震災に学ぶ	岩手県立大学総合政策学部 教授 元田 良孝
8	品質と価格のバランスが取れた調達のための企業実績評価に関する研究	愛媛大学 防災情報研究センター 教授 木下 誠也
9	凍害と疲労の複合劣化下のコンクリート系構造物の性能予測	北海道大学大学院工学研究院北方圏環境政策工学部門 教授 上田 多門
10	地方自治体が管理する橋梁の損傷と動特性に関する実験的研究	舞鶴工業高等専門学校建設システム工学科 教授 玉田 和也
11	将来的な人口変動を考慮した津波避難場所・津波避難ビルの適切な空間配置に関する検討	東京大学大学院情報学環 准教授 大原 美保
12	東北地方太平洋沖地震で被災した文教施設の被害調査に基づいた建物の機能維持に着目した安全性評価手法の提案	仙台高等専門学校建築デザイン学科 助教 藤田 智己
13	都市型農園を用いた高齢者の「生きがい・就労」社会実験（フェーズⅡ）～超高齢化社会のフロントランナー・日本の安心安全基盤に向けて～	芝浦工業大学システム理工学部環境システム学科 教授 松下 潤
14	アルカリ材造造物を利用したヘド口の資源化に関する研究	広島大学大学院工学研究院社会環境空間部門 准教授 日比野 忠史
15	地域レベニュー債を活用した下水汚工エネルギー化技術導入に向けた定量的事業評価手法の開発	京都大学経営管理研究部 教授 小林 潔司